

昭和十一年七月

昭和十一年六月二十九日の
神通川の洪水に就て

内務省新潟土木出張所



D1

38

昭和十年六月二十九日の

神通川の洪水に就て

本年六月二十八日より二十九日にかけて九州より關西方面に多量の降雨あり之れが爲到る處洪水の氾濫夥しく多大の恐威と慘害を蒙らしめたるが此大量の降雨は岐阜縣高山町地方一帶迄及び高山測候所觀測の二十八日の降雨量二九六・二耗に達し全所開設以來の最高記録を示せり(全觀測所は五十年前開設す)之れが爲大正九年

以來の大出水となり宮川を氾濫せしめ高山高原一帯に多大の損害と恐威を與へ下流神通川は稀に見る洪水を現出せり

神通川洪水の被害は明治二十九年全四十二年大正三年全九年最も其慘害を逞うし何れも人畜の死傷家屋の流失田畑の流亡等多大の損害を與へたり就中大正三年の損害額は九百三十萬圓に達す

日本海方面の河川は其特徴として山岳地より平野に出づるや直ちに海に向ひ直角の方向に急勾配を以て流出し且つ砂礫の堆積夥しき爲川床は附近平地より高く一たび出水すれば其勢猛烈を極め

忽ちにして護岸堤防を破壊し濁流市街村落に奔流し家屋を流し人畜を損傷し耕地は砂礫の埋没する所となり其慘害の甚大なる他に其比を見ず川沿ひに市街を成せる富山市も亦出水毎に其慘害を蒙り來れり

本年六月二十九日神通川の出水は明治四十三年の大洪水と同水位にして神通川の富山平野への出口に近き狹谷部に在る笹津量水標に於て最高六米に達せり此水位は計畫洪水位に相當するものにして中流部添島量水標に於ては最高三、六米を示し計畫洪水位より

○、三五六米低く富山市附近鶴島量水標に於て五、二米に達し計畫洪水位より○、四八四米低し此出水は明治四十三年及び大正九年以來の大出水なるに拘らず幸にして國直轄にて施行し來れる改修工事殆んど完成に近づき居たる爲何等の不安無く完全に沿岸一帯の沃野並に都市を保護し得たり

神通川改修工事は積年の洪水氾濫の害を除く爲め國直轄工事として工費八百五十四萬圓を以て大正七年度より工を起し爾來本年度に至る迄年を閲すること十三年工事全部の完成に至る迄尙ほ三ヶ年餘を要す然れども山地取付部より海に至る二十二軒間の兩岸堤防工事及び護岸水制の大部分は既に竣功し此度の大出水に遭遇して試練を経たるものにして昨昭和九年七月十一日北陸一帯を襲ひたる豪雨は未曾有の慘害を與へたるが幸にして神通川の水源地方の雨量少く此時に於ける笹津量水標の最高水位は四、二五米を示し此度の出水に比すれば遙に低きも改修工事施行前にありては此水位にも達せずして到る處破堤し甚大なる損害を與へたるは記録によりて明かなり此度の洪水は改修堤防築成以來最大のものにし

て殆んど計畫高水位に達し而も克く此非常の大出水に際し其効果を遺憾なく發揮したるはまことに幸福と云ふべし

然るに水源山岳地方は崩壊地多く累年幾分宛の砂防工事を施行し來れるも小範圍に止り今後尙急施を要するもの少からず將來之れが施行と相俟つて治水の完璧を期し多額の工費と多年の努力によりて近く愈々完成せんとする神通川改修工事の徒勞に歸せざらんことを切望するものなり